



平成28年 7月14日 (木) 第345号

インフラ長寿命化に向けて H28第1回青森県道路メンテナンス会議開催



今年度1回目の「青森県道路メンテナンス会議」が6月30日(木)、青森市のアピオあおもりで開催され、青森県内の道路管理担当者約90名が出席しました。

本会議は道路インフラの長寿命化対策を図ることを目的に平成26年度に設立され、維持管理に関する情報共有・連携、技術力の向上、道路利用者を対象とした広報活動などに取り組んでおります。(写真左：会議の様子)

今回の会議では、道路施設の老朽化に関する話題として、東北地方の橋梁等の高齢化の割合、地方公共団体の技術者の現状などが報告されたあと、平成27年度に行われた点検状況の報告及び平成28年度の点検方針として『点検未実施団体の解消』や4月発生の熊本地震をふまえた『緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋の点検前倒し等』が示されました。また、今年度の本会議における取り組みとして研修・現地見学会、パネル展等の予定についても周知されました。(写真下：会議参加者による意見交換の様子)



青森県道路メンテナンス会議では、橋梁やトンネルなど道路インフラの長寿命化に向け、点検計画等の活動に取組み、利用者の安全・安心が確保できるよう努めていきます。なお本会議内容の詳細については下記バナーをクリックするとご覧いただけます。

今回の会議資料・これまでの取組→→→

[道路施設の老朽化対策](#)